



兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

令和8年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

【一緒につくる未来のまち（美しいまちづくりの実践）】

日 時：令和8年9月4日（金）13：30～15：00

受講者数：17名

会 場：淡路緑景観キャンパス

講 師：緑環境景観マネジメント研究科 教授 塚田 伸也

○テーマ・概要

「都市計画」「まちづくり」の基礎知識を理解した上で、受講者が実際に「自分の住むまち」をGISサイトから調べ、そこから見えてくる課題を洗い出します。最後に「未来へつなぎたいもの」をテーマとして考えるという、知識学習から身近な自分の生活ごとへと段階的に展開する構成になっており、行政・専門家だけでなく住民一人ひとりが「つくり手」であるという視点が全体を貫くメッセージです。

○内 容

本講座は、1. 都市計画とまちづくり、2. 自分の住んでいるまちの姿を知る、3. 自分のまちの課題を考えて解決する、4. 未来のまちへつなぎたいもの考える、の4部で構成する。

冒頭、講師が行政での実務経験と大学における研究活動の両面からまちづくりを見てきたことを紹介し、講座全体の流れの説明があった。

第1部「都市計画とまちづくり」では、土地利用・交通・緑・インフラ・公共施設というまちを構成する要素が互いに影響し合う仕組みを解説し、行政が定める制度としての「都市計画」と、住民や事業者が主体の「まちづくり」の違いと関係性の説明、実践事例の紹介があった。

第2部「自分の住んでいるまちの姿を知る」では、土地区画整理事業やニュータウン開発などまちの成り立ちを開発史の視点から読み解くとともに、土地利用制度の用途地域制度を解説や建蔽率・容積率の解説があった後、国土交通省「不動産情報ライブラリ」を用いて参加者が自宅周辺の用途地域や地価をスマートフォンで実際に調べる体験型ワークが行われた。

第3部「自分のまちの課題を考えて解決する」では、空き家や子どもの遊び場不足といった地域内側の課題と、人口減少・気候変動といった外部環境からの課題をワークシートに書き出し、都市計画・まちづくりの手法でどう解決できるかを参加者同士で話し合いが行われた。

第4部「未来のまちへつなぎたいものを考える」では、まちのターニングポイントを振り返りながら、次世代に残したいものと新しくつくりたいものを考え、実現のために自分にできる一歩をグループで共有して、最後にまとめと質疑応答が行われた。

